

■ 或る夜のスケッチ (四巻)

帝キネ 小阪映畫

脚色者 佐藤樹一路氏
監督者 深川ひさし氏

撮影者 唐澤弘光氏

——主要役割——

商家の大旦那 淺野 節氏
その女房 尾崎 静子嬢
若旦那 里見 明氏
番頭 熊谷 珊之助氏
小僧 石田 末廣君
下女 柳 まさ子嬢
遊び友達 瀨川 銀潮氏
若旦那の藝妓 久世 小夜子嬢
友達藝妓 濱田 格氏
職工

(略筋。省略)

深川ひさし氏の獨立第一回作品でキネの第二回の無字幕映畫である。譚りはありふれた、他愛のない曾我廻家の初期の喜劇そのまゝであるが、一寸凝つた撮影とカットバックの活用によって救はれて居る。無字幕映畫さはいへ、映畫の音の表現は變なものであるが、漫畫的な味が一寸面白い。併し無字幕映畫としての價値は薄い。俳優は皆な適材適所で樂に演じて居るが柳まさ子嬢がつまらぬ役で却つて彼女が主役を演じた映畫より好味を出して居るのが印象に残つた。要するに興行價値の充分ある一般向の喜劇映畫である。

(七月十九日大阪芦邊劇場) 山本 綠葉